



# 基礎から教えるマイホーム

# 絶対得する業界の常識

## 〜S様邸建築取材VOL.6〜



今回が6回目のS様邸の建築取材となります。  
前回は、制震設備「BOSHIN」についてお届  
けいたしました。

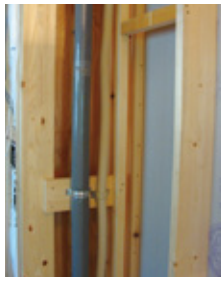
今回は、9月末引き渡しを目前に内部の設備工  
事が着々と進んでおりまして、その様子を紹介し  
ます。

### ■内部へ潜入取材をしました。

「私たち現場の人間の説明だけでは伝えられるこ  
とも限られますから、現場を直接見て率直な感想を  
記事にしたいですね」と湯浅社長よりオファー  
があり、現場監督室内のもと内部取材を行いました。

### ■たしかに言葉で伝えるのは困難です。

木造3階建て3世代で住まうS様邸。1階から3  
階すべてのフロアを案内していただきました。例え  
ば、収納の取っ手の位置ひとつにしても、なんと  
絶妙な位置に取り付けられていたり、閉鎖時に音が  
出ないように工夫されているさらに、ほかの建  
築会社ではおさなりの音がちな、目に見えない  
「水回りの配管」も、手作業で丁寧に防音材を巻きつ  
け、わずかな水の音  
も抑える気遣い……  
そういう細かい感  
動が無数にあり、何  
をピックアップし  
てご紹介するか頭  
を悩ませました。



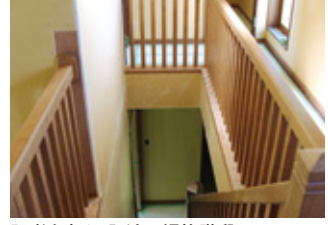
水回りの配管

■記者の目を最も惹いたのは……  
特に私が強く関心を抱いたのは、建物の中央に位  
置する1階から3階までつながる階段。こちらの階

段は職人さんの手作りに  
よるもの。言葉にしてし  
まえば大したことないの  
ですが、手擦りのさわり  
心地がよく、その高さも  
自然と手を寄せることが  
できる。段差も低すぎず、  
高すぎず、スリッパでの  
移動も足を滑らす危険  
性もなければ、低すぎ、  
足に負担がかかることもない。その他、バスの出入  
り口、窓の位置、さりげなく設けられていた収納、それら  
の使い心地……。すべてにおいて、住む人、使う人の  
ことを考えて作られていると感じました。

### ■協力業者との連携

現場では、湯浅建設さんの社員ではない業者の方  
もいました。内部工事では、多工種の協力業者が現  
場に頻繁に入るようになります。家づくりで注意が  
必要なのは、この過程であると言います。建築会社  
ではない業者が入ることで、施主様の意思が正確に  
伝わらないなど連絡ミスが起こりやすくなります。  
ハウスメーカーなどでは、1人の社員が複数の現場  
を担当することが当たり前ですが、そうなる通常に  
現場にいないことがや  
まず、ミスが起りやす  
くなるそうです。湯浅  
建設さんでは、社員の  
担当現場を最小限に  
抑え、このような施主  
様の信頼を失いかね  
ないミスが起こりに



記者お気に入りの螺旋階段



高さも絶妙で使い勝手が  
良さそうなワークデスク

くくしていま  
す。また、地元  
の協力業者に  
依頼している  
ので、信頼関  
係も築かれて  
いて、そのよう  
な凡ミスはま  
ずあり得ない  
のです。

### ■設備の選び方と決め方

自由設計の醍醐味でもあるバス・トイレ・キッ  
チンなどの設備の選択。S様邸も記者もつらやむバ  
スが設置されましたが、これらにはお得な購入  
法があります。まずは、メーカーのショールームな  
どで現物を見て、気に入ったメーカーと品番などを  
建築会社に伝えてください。

「ショールームから直接買ったほうが安くなるは  
ず」と思いますが、実は設備に関しては、建築会  
社を通して買ったほうが安くなるケースがほとん  
どなのです。不安であれば、ショールームからも見  
積もりなどをとって見ていただければと思います。  
なお、ハウスメーカーでは、注文住宅でも設備の選  
択肢に制限がある場合があります。



プレハブ工法が多い昨今、  
職人が腕を奮う現場に感動

はじめてのS様邸の内部取材を行いました。やはり  
3階建ての建物は広い！の一言ですが、どの部分を見  
ても、手を抜いている箇所なんて当然ですがありませ  
んでした。隅々まで、作り手の気持ちが入り込められて  
丁寧な仕事を目の当たりにしました。「私が住みた  
くってしまおう」なんて思ってしまった(笑)  
湯浅建設さんは現在市内の小中高校にて、耐震改修  
工事を急ピッチで行っています。夏休み中に完了させ、  
二学期が平常に始められるようにしなければならぬ  
そうです。  
現在建築業界が需要過多になっている状況で人手に  
困りながらも、社員一丸となり、夏休みを返上したり、  
減らしたりして対応しています。そんな中でもS様邸  
でも一切の手抜きをすることなく、丁寧に仕事を進め  
ている様子には感動の気持ちすら覚えるのでした。

取材協力株式会社湯浅建設 湯浅健司社長



建築 土木 住宅リニューアル

地域に根差した総合建設業を目指して創業60年

一貫誠実

株式会社湯浅建設

千葉県知事 登録 第1-1203-7620号/千葉県知事許可(特-22)第1298号

お見積り無料!  
お気軽にお問い合わせ下さい!

TEL:047-387-2231(代表)  
FAX:047-387-2235

〒270-2253 千葉県松戸市日暮5-25  
http://www.yuasakensetu.co.jp/



ホームページリニューアルしました。  
情報満載ですのでご覧ください。

湯浅建設  検索